

## 「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として 「スマートコミュニティ推進部会」を立ち上げました！

～第1回部会を12月11日、たまプラーザにて開催～

### ■ 趣 旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、今年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、「スマートコミュニティ推進部会」を民間企業等と共同で設置することとし、第1回部会を12月11日に開催いたしました。

本部会は“W I S E C i t y※”をコンセプトに掲げ、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指して、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）を対象に、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としております。

横浜市では、「次世代郊外まちづくり」の取組を、環境未来都市計画の主要なプロジェクトに位置付けていますが、スマートコミュニティ推進部会の取組には、これまで積み重ねてきた、横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）等の実証実験の成果を活かして、本格事業につながるよう推進していきます。

上記内容を、東急電鉄と合同で記者発表しますので、お知らせします。

（「スマートコミュニティ推進部会」の詳細は、別紙をご参照ください。）

\*W I S E C i t y : **W**ellness、**I**ntelligence & **I**CT、**S**mart & **S**ustainable、**E**cology & **E**nergy の頭文字をとった造語。賢いまちづくりという意味も込めています。



平成 24 年 12 月 20 日  
横 浜 市  
東京急行電鉄株式会社

報道関係者 各 位

## 「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として 「スマートコミュニティ推進部会」を立ち上げました！

～第1回部会を12月11日、たまプラーザにて開催～

### ■ 趣 旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、今年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、「スマートコミュニティ推進部会」を民間企業等と共同で設置することとし、第1回部会を12月11日に開催いたしました。

本部会は“W I S E C i t y※”をコンセプトに掲げ、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指して、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）を対象に、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としております。

横浜市では、「次世代郊外まちづくり」の取組を、環境未来都市計画の主要なプロジェクトに位置付けていますが、スマートコミュニティ推進部会の取組には、これまで積み重ねてきた、横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）等の実証実験の成果を活かして、本格事業につながるよう推進していきます。

※W I S E C i t y : W e l l n e s s , I n t e l l i g e n c e & I C T , S m a r t & S u s t a i n a b l e , E c o l o g y & E n e r g y の頭文字をとった造語。賢いまちづくりという意味も込めています。

### ■ 「スマートコミュニティ推進部会」の概要

「スマートコミュニティ推進部会」の参加者は、下記の通りです。また、この部会は国立大学法人東京工業大学先進エネルギー国際研究センター（柏木孝夫センター長）の支援と助力を得ていきます。

#### （1）目的

本部会は、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としています。

短期的には、たまプラーザ駅北側地区内に居住する住民と地域ぐるみでの家庭内エネルギー管理システム（H E M S※）やマンションエネルギー管理システム（M E M S※）の導入、エネルギーの見える化（省エネルギー・ネガワットキャンペーン）を目指します。中長期的には、地域エネルギー管理システム（C E M S※）・自律分散型・地産地消のエネルギーシステムの構築を目指します。

#### （2）部会の構成

##### ■参加企業(平成24年12月11日現在)

イツツ・コミュニケーションズ株式会社

JX日鉱日石エネルギー株式会社

東急建設株式会社

日産自動車株式会社

株式会社NTTファシリティーズ

株式会社東芝

東京ガス株式会社

株式会社ビットメディア

##### ■横浜市・東急電鉄

横浜市温暖化対策統括本部

横浜市建築局

東京急行電鉄株式会社

国立大学法人東京工業大学先進エネルギー国際研究センター

※**HEMS** : 「家庭 : **H**ome」内のエネルギー管理システム (**E**nergy **M**anagement **S**ystem) の意。

家庭のエネルギー消費機器をネットワークで接続し、稼動状況やエネルギー消費状況の可視化・監視、自動制御等を行う。

※**MEMS** : 「マンション : **M**ansion」全体の、エネルギー管理システム (**E**nergy **M**anagement **S**ystem) の意。

※**CEMS** : 「地域 : **C**ommunity」全体の、エネルギー管理システム (**E**nergy **M**anagement **S**ystem) の意。

マンションや住宅、電気自動車 (EV) 向け充電スタンドなどを統合して運用する。

**EMS** : エネルギー管理システムを意味する英語 (**E**nergy **M**anagement **S**ystem) の頭文字をとった略語。

管理対象の頭文字を加えて、**HEMS**・**MEMS**・**CEMS**という名前がそれぞれ付けられているが、エネルギーの需要と供給を可視化し、コントロールするというシステムの基本は共通。省エネルギー、CO<sub>2</sub>の削減や、利便性の向上を目的とする。

横浜市 温暖化対策統括本部	環境未来都市推進課担当課長	林 千賀	Tel 045-671-2336
横浜市 建築局	企画部企画課長	黒田 浩	Tel 045-671-3627
東京急行電鉄株式会社	社長室広報部	矢澤・柳澤・田中・長谷	Tel 03-3477-6086